

# 自然学習講座

テーマ:水元公園の鳴く虫観察会

日 時:令和7年9月27日(土)午後18時から20時まで(雨天決行)

講 師:水元かわせみの里専門員

参加費:無料 定員:30人

受付開始:令和7年8月22日(金)

集 合:水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受 付:令和7年8月31日(日)まで電話で受付し、応募者より抽選。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。

※ お持ちであれば懐中電灯をお持ちください。

※ 小学生以下は保護者同伴。



水元公園の静かな夜に響く虫の鳴き声に耳を澄ませ、その生態を観察します。

## イベント・ガイドウォーク

第11回 かわせみフェスティバル 10月19日(日)  
10時~15時



生きもの観察会やクラフト体験、カワセミが生息する他の公園の紹介や地元の施設によるポスター展示等を行います。会場は水元かわせみの里。

ガイドウォーク 1回目 11時から30分間  
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。  
ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。

## 水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間 … 9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日 … 月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ … 水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス 水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ) 金町駅南口→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)  
バス停の場所は、5ページ  
の地図をご覗ください。  
金町駅南口→水元公園→金町駅南口  
水元かわせみの里下車 徒歩1分 水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

## 水元かわせみの里

# 水辺のふれあいルーム通信

令和7年8月20日  
(通算第221号)

## 『狐』の『孫』ってどういうコト?

名前の由来には諸説ありますが、茎先端の花穂の形を『狐』の尾に見立て、さらに花穂が小さいことを『孫』と表現して『狐の孫』と名付けた説が有力です。



▼吸蜜に訪れたヤマトシジミ



## 小さな花蜜レストラン

日当たりの良い場所に生える一年草で、夏~秋にかけて、かわせみの池周辺や圃場など、水元公園各所の草地に群生します。茎先端の花穂に通常2~4個の小さな花をつけ、主にヤマトシジミやベニシジミなどの小さなチョウや、ミツバチやハエの仲間など、小さな昆虫が吸蜜に訪れるところがよく見られます。

# 発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、  
お散歩隊が見つけて紹介します！



8/11 ツユクサ ハーブ園でハーブに混ざり、青色の花を咲かせていた。花弁を潰すと青い汁が出る。



8/11 シロバナツユクサ 花弁が白くなったツユクサの突然変異種とされる。中央広場周りの園路脇で咲いていた。



8/1 サルスベリ 夏から晚秋にかけてピンク色の花を咲かせる。赤や白の花を咲かせるものも見られる。



8/11 エゴノキの実 中央広場で沢山実っていた。実際に穴が空いているものは、エゴシギゾウムシに産卵されたもの。



8/3 タイリクバラタナゴ 中国大陸から入ってきたとされる外来種。夏の繁殖シーズンは鮮やかな婚姻色が出る。



8/9 キマワリ 主に夜、木の幹などでよく見られる。木を周るように歩くことから『木廻り』と名付けられた。



8/9 ツマムラサキセイボウ 青色の光沢をもつ寄生バチ。スズバチの巣に穴を開け、産卵しようとしていた。



8/2 コロギス コオロギとキリギリスを足して2で割ったような外見を持つ。キャンプ場で素早く木を登っていた。



8/10 ウスバキトンボ 水元かわせみの里の上空を、100匹を超える群れで飛んでいた。

● 写真を撮った場所を地図上に示していますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

## 専門員コラム 「地球をまたにかけるトンボ」のお話

お盆を迎える、皆さんもどこか旅行に行かれているであろうこの頃、水元公園ではふと空を見上げると、おびただしい数のトンボが飛びまわっている様子を見ることがあります。

このトンボはウスバキトンボ（9）といい、名前の通り薄い翅に黄色い体を持つトンボです。胴体は薄く短く、翅は幅広く、そしてあまりはばたかないという特徴も持っています。また、お盆を迎えるころに現れるため、ご先祖の魂を運ぶ「精霊馬」になぞらえて「精霊トンボ」というあだ名を持ちます。これらの特徴は、実はこのトンボの特別な生態と深い関係があります。

ウスバキトンボは海を渡るトンボです。東南アジアなどで冬を越し、春に羽化したトンボは、一部が現地に残り、他は海を渡って北上します。薄く幅広い翅で海の上昇気流を受け、グライダーのように飛びます。体は薄く短いために非常に軽く、長距離の移動もこなします。そして行きついた土地で繁殖し、また少しづつ北上をするため、水元公園では概ねお盆頃に現れるのです。

北上したトンボは、最後はその土地の冬に耐えきれず死滅します。しかし地球温暖化で冬が暖かくなり、少しづつその生息域は拡大しているようです。お盆のころに、壮大な旅行の果てに水元公園に現れたこのトンボを、ぜひ観察してみてください。（野間）



# ボランティア活動報告

## 水元かわせみの里の入口に田んぼを作っています！

7月中旬から8月にかけて、水元かわせみの里入口のツツジを掘り起こし、田んぼに切り替える作業をボランティア・キッズボランティアと協働で開始しました。来年3月を目指して田んぼ作りを終え、春には田植えができるよう、少しづつ準備を進めています。



土を露出させるため、まずツツジの木を切っていきます。



木を切ることで、少しづつ地面が露出していきます。



木を切った後、鋤やシャベルを使って根を引っ張ります。



地面が完全に露出したら土堀りです。細かい石を取りながら、土を取り除きます。

## ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目指します。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業  
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講  
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

## 学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

### 総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

### 職場体験受け入れ



中学生職場体験

### 自由研究の補助



虫とりキットを作ろう

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

水辺の生きものの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

### その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

## 野草園だより 見頃の生きもの 8月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。

様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをお紹介します。

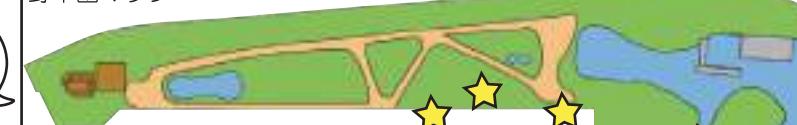
### 8月の見頃

#### スズバチ

体長約20~30mmほどの大きなドロバチの仲間で、くびれのある体形が特徴的。泥で幼虫のための巣を作る習性があり、巣は水元かわせみの里のあちこちで見られる。巣を作る材料の泥は、乾燥した土を口に含んだあとで水を舐めて混ぜ合わせて作る。この時は、水を求めて野草園の濡れた園路を舐めに来ていた。



#### 野草園マップ



見られる  
ポイントは  
ココ!